



**【文部科学省：小学校の新たな外国語教育へ向けて中学  
年向け補助教材を配布。9月に「審議のまとめ」も発表】**  
学習指導要領改訂後の新たな教材開発に生かすため、中学年向  
けに補助教材として絵本を配布。審議のまとめも発表される

●中学年の外国語活動導入に向け補助教材として絵  
本 2 冊配布。今年度から効果の検証と新教材開発へ

この4月に文部科学省では、研究開発学校等に補助教  
材として、絵本を配布しました。3年生用は“*In the  
Autumn Forest*”（写真左上）、4年生用が“*Good  
Morning*”です。前者は動物たちがかくれんぼをして遊  
ぶ場面設定。同じ英語のフレーズを繰り返し使いなが  
ら、動物や、形容詞などに慣れ親しむ内容です。児童用  
「小型絵本」とともに、指導用「大型絵本」、音声付き



のデジタル教材を配布。市区町村の教育委員会にも配布されており、「絵本活用に関する基本的な  
考え方」が文科省のホームページに掲載されています（活動事例指導案も掲載予定）。6月には、  
平成30年度からの移行措置期間の使用を想定した、3～6年生の新教材開発のための委員会が設  
置されました。今年度から補助教材の検証とともに、新教材の開発も進めていくことになります。

●次期学習指導要領に向けた「審議のまとめ」発表される

中教審「外国語ワーキンググループ」および「小学校部会」「教育課程部会」等での審議を経て、  
この度「審議のまとめ」が出されました。高学年では以下のような目標案が示されています。

**小学校高学年（教科型）の目標案：**

◎外国語のコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、コミュニケーションの目的を理  
解し、見通しを持って目的を実現するための言語活動を通して、聞いたり話したりするととも  
に、読んだり書いたりすることに慣れ親しませ、コミュニケーション能力の基礎となる資質・  
能力を、次のとおり育成する。

- ①外国語を通じて、言語の働きや役割などを理解し、読んだり書いたりして外国語の文字、単語、  
語順などに慣れ親しませるとともに、外国語の音声、語彙・表現を聞いたり話したりする実際  
のコミュニケーションの場面において活用できる基本的な技能を身に付けるようにする。
- ②外国語を通じて、身近で簡単なことについて、文字・単語などを読んだり語順に気付きながら  
書いたりするとともに、聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合う基礎的な力  
を養う。
- ③外国語やその背景にある文化の多様性を尊重し、相手に配慮しながら外国語を用いてコミュニ  
ケーションを図ろうとする態度を養う。

●中教審「次期学習指導要領等に向けたこれまでの審議のまとめ」は以下に掲載されています。

[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chukyo/chukyo3/004/gaiyou/1377051.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/004/gaiyou/1377051.htm)



**教育出版株式会社**

WEB サイト <http://www.kyoiku-shuppan.co.jp/>  
「小学校」「英語」ページから発信します